

(1) アウトプット指標（活動指標）

取組項目		指標	計画策定（H27）	目標年次（R6）	最終評価（R6）	評価
自転車通行空間整備	ネットワーク路線の自転車通行空間確保	整備の進捗	0%	30%	30%	達成 (24.9km)
意識・啓発活動	街頭指導・広報	取組回数	3回/年	5回/年	10回/年	達成 (街頭指導8回、広報2回)
	セーフティリーダーの育成	認定人数	170人	260人	213人 (R7.2.21)	未達成だが、数値は上昇している

(2) アウトカム指標（成果指標）

指標	計画認定（H27）	目標年次（R6）	最終評価（R6）	評価
歩行者と自転車の事故件数	0件 (H24)	0件	1件 (死者0人)	R6.1~12において、極めて少ない事故件数が保持されている
既設駐輪場の利用率	41.8% (H25)	↗	25.6%	路上駐輪台数を含めた、市街地の車両台数が減少していることも要因
路上駐輪台数 (路上駐輪台数/総台数の割合)	68%	58%	62%	割合が減少している事より、路上から自転車駐車場への誘導ができています

① 自転車通行空間の整備

- ・ネットワーク路線の自転車通行空間の確保

総延長 83km に対して、24.9km の道路延長において整備 (29.9% ≒ 30%)

自転車通行空間の確保（ブルーライン施工）	: 3.3 k m
双方向通行可能（歩道に中央線（整備済））	: 9.4 k m
一方向通行可能（ピクトグラム）	: 12.2 k m

アウトプット目標値 30%を達成

② 路上駐輪への対応

- ・既設駐輪場の利用率

自転車駐車場 4 か所の年間平均値を精査

アウトカム指標 H27 41.8%に対して、R6 25.6%で未達。ただし、来街する自転車台数自体が減少しており、自転車駐車場に停めずに路上に自転車があふれている状況ではない。(以下より)

- ・路上駐輪台数（路上駐輪台数/総台数の割合）

アウトカム指標 H27 68%に対して、R6 62%で未達だが、H27 比で割合が減少していることより、少なからず自転車駐車場への誘導が促されていると解釈できる。

令和3年度に「店ちか駐輪場」社会実験を実施。路上シートや駐輪枠など視覚的な手法により、バス停、点字ブロック付近への駐輪防止と、路上駐輪の整理について一定の効果があった。

③ 自転車利用マナーに関する啓発活動

- ・街頭指導・広報

警察等による街頭指導 8 件（駐輪場付近、スーパー、高校等）実施。また、大型ビジョンを活用し、意識啓発動画を一定期間放映。

アウトプット指標 H27 3回/年に対して、R6 10回/年実施で目標値（5回/年）を達成。

- ・セーフティリーダーの育成

アウトプット指標 H27 170人に対して、R6 (R7.2.21) 213人。目標値（260人）には満たないが、大きく増加。しかし、定年延長の影響で、60歳以上のなり手不足や、辞める人も増加傾向にある。

- ・歩行者と自転車の事故件数

アウトカム指標 歩行者と自転車の事故件数は、R6 1件 H27より微増だが、1~2件/年程度を保持